

1学期 月曜日 2時限 7A106

担当教員: 西岡 貞一・他

概要

異分野学生による協働型コンテンツ開発演習の場でネットワーク時代におけるコンテンツ作成を知的財産権などの社会的な課題と関連させながら学ぶ現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)「異分野学生の協働によるコンテンツ開発演習」の中で開講する講義である。講義は三つの要素で進められる。知的財産権及びプライバシーに関する基礎知識、制作現場における現状と権利の関係、コンテンツの未来像。それぞれのテーマについての講義を本学教員と外部講師により行うものとする。

学習・教育目標

現代社会においてコンテンツ制作を進める上で必要不可欠とも言えるべき知的財産権及びプライバシーに関する基礎知識を理解する。またコンテンツの制作、流通の現場で著作権を中心にどのような社会構造の変化が生じているのかという知識を習得する。更にコンテンツ全体の未来像について産業面を中心に学ぶことで、総合的にコンテンツの意味を理解する。

授業計画

週	講義内容
第1～3週	情報の取扱いと法令遵守について(担当:新保史生)、外部講師による法令遵守のための法的・技術的対策について、企業の情報セキュリティ対策と法政策(山川智彦:(株)NTTデータ)、暗号プロトコルのマジックについて(佐古和恵:日本電気(株))
第4～5週	知的財産の保護に関する法制度、著作権法に基づく著作物の保護と利用(担当:村井麻衣子)
第6～8週	外部講師によるコンテンツ制作現場について(担当:鈴木誠一郎)、放送とネットの共存(江藤巖二:NHKライツ・アーカイブスセンター)、音楽の流通と著作権(秀間修一:(社)音楽出版協会)、映画製作、とりまく環境の変化(吉岡和彦:NHKエンタープライズ)
第9週	コンテンツ制作最前線(担当:金尚泰)
第10週	Next big things - デジタルコンテンツの未来(担当:西岡貞一)

教材・参考書等

特になし。

成績評価

適宜、ミニレポートを実施する。

授業外の学習内容・方法

予備知識・前提条件

特になし

コンテンツに関すること、知的財産権やプライバシー保護に関することに常に関心を持つこと

講義のホームページ

<http://www.slis.tsukuba.ac.jp/gendaigp/>

備考

現代的教育ニーズ取組支援プログラム「異分野学生の協働によるコンテンツ開発演習」関連講義科目
大学院生(博士前期課程)の受講可